

## 総務常任委員会

令和2年度幸手市一般会  
計補正予算 (第8号)  
(議案第87号)

期分の実績は、2つの事業で約10万であった。下半期分も中止となる事業が見込まれるが、これまでの実績をもとに減額をした。

**問** 杉戸町し尿処理事務受託負担金の減額理由は。

**答** 桜泉園のし尿処理施設は、処理に要した経費について幸手市と杉戸町の搬入量に応じて按分し、杉戸町から負担金を受け入れている。今回、処理施設に関する、需用費・工業薬品や分析薬品、脱水汚泥等運搬処分業務委託料等に係る経費を832万2千円減額すること、これに対する杉戸町負担分に当たる284万6千円が減額となった。

**問** バス運行業務委託料の減額理由は。

**答** 当初予算において、571万8千円を計上していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により予定されていた多くの事業が中止となり、4月から9月までの上半

**問** 地方債元金償還金の増額、利子償還金が減額した理由は。

**答** この起債は、平成22年度に臨時財政対策債として、20年の償還期間で借入れをしたが、10年を経過して利率の見直しがあり、この見直しによる利息が、当初の年1.2%から0.008%となったこと、今後10年間の償還額を算定した。償還方法については、金利と元金を合わせて10年間同じ金額となる元利均等償還としていることから、利息が減額し、元金が増額した。

**問** 可燃性残さ運搬処分事業で再追加分が発生した理由は。

**答** 粗大ごみ処理施設から発生した可燃性残さは、桜泉園から中間処理施設まで運搬し、焼却処理をするなかで発生した焼却灰をリサイクル処理施設へ運搬している。

当初の債務負担行為は平成30年度において、平成30年度から33年度までの3年間で、5843万1千円の債務負担行為を設定していたが、廃プラスチックの処分費が値上がりしたことにより、昨年度に987万6千円を追加分とする債

務負担行為を設定した。今回の再追加分は、コロナ禍の影響により自宅を過ごす時間が多くなり処分量が増えることを見込んで、令和2年度から3年度の2年間で、874万6千円を補正した。

## 文教厚生常任委員会

幸手市国民健康保険条例  
例の一部を改正する条例  
(議案第82号)

**問** 基礎課税額の課税限度額が54万円から57万円へと3万円引き上げられるが、これは医療給付分だけの引き上げか。

**答** 今回の改正は、当市では医療給付費のみを現行の54万円を57万円へと引き上げるものである。国が示している金額については、63万円なので、この医療給付費分についての金額の差が9万円だが、国が示している金額へと引き上げると、加入者の負担がたいへん大きくなるため、段階的に引き上げをしまいたく、今回の改正をするものである。

指定管理者の指定について  
(議案第86号)



**問** 指定管理者となる団体の選定は。

**答** 指定管理者検討委員会を開催し、本年8月5日に非公募とする選定方法についての同意をとり、また、10月8日の指定管理者検討委員会、社会福祉法人幸手市社会福祉協議会を指定管理者として選定するという手続きを経ている。

令和2年度幸手市一般会計  
補正予算(第8号)  
(議案第87号)

**問** 交通安全対策費、交通指導員報奨金、54万円の減額理由は。

**答** 新型コロナウイルス感染症が拡大した3月から小・中学校が休校となり、このため、4月分、5月分の立哨回数が減ったことから減額をするものである。

**問** 私立幼稚園心身障害児就園運営費補助金の増額に係る申請状況は。

**答** この補助金については、これから申請となる。昨年度の実績は、2名で、今年度は3名申請予定である。

**問** 子宮頸がん予防接種業務委託料77万9千円の増額内容は。

**答** 子宮頸がんのHPVワクチンについては、平成25年6月から積極的な接種勧奨は控えるようにとの国の通知があった。しかし、今回、国から新たに10月9日付でHPVワクチンについての情報提供を対

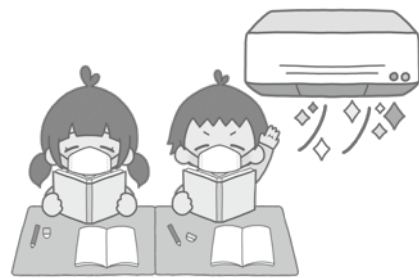
象者にするようにという通知が来たため、対象の女兒および保護者に対して個別通知や、学校を通し周知を行い、それにより接種者が

増えることを見込み増額した。人数については、近隣の状況を踏まえ、8%程度の方が接種する見込み。高校1年生相当の女兒が177人と把握しており、その8%の15人の方が接種を希望するのではないかと見込んでいる。

**問** 小学校費学校管理費の光熱水費の増額理由は。

**答** 一番大きく影響しているのがエアコンのガス代である。当初850万円を計上していたが、10月現在で1年間の見込みを見たところ2121万9839円というところで、1271万9千円程度不足が生じるため計上した。新型コロナウイルス感染症の影響で、あまりエアコンを使用しない4月、5月に学校が休業となり、特にエアコンを使う7月後半から8月に授業を行ったこと、また、冷房についても換気をしながらの冷房使用で、効率が悪く通常よりも量が増えた。ただし、電気、水道、下水道関係で当初よりも残が出る見込みがあり、差引きしてマイナス7

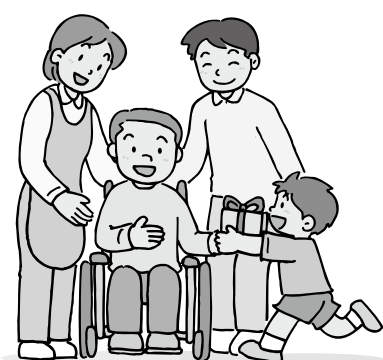
80万8千円不足分を増額した。



令和2年度幸手市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)  
(議案第88号)

**問** 歳出において、保険給付費が3億2千314万4千円の増額だが、このところ保険給付費は年々減ってきていた。これは、何らかの影響で保険給付が増えるという見込みか。

**答** 保険給付費については、上半期の執行状況を踏まえて年間の金額を算定したところ、不足が生じるが見込まれたので、増額の要求をした。



令和2年度幸手市介護保険特別会計補正予算(第2号)  
(議案第90号)

**問** 保険給付金の居宅介護サービス給付費3千200万円の減額の内容は。

**答** 介護予防サービス給付費、介護予防サービス計画給付費等を増額補正する為、その財源として3千200万円減額しているものである。

建設経済常任委員会

令和2年度幸手市一般会  
計補正予算(第8号)  
(議案第87号)

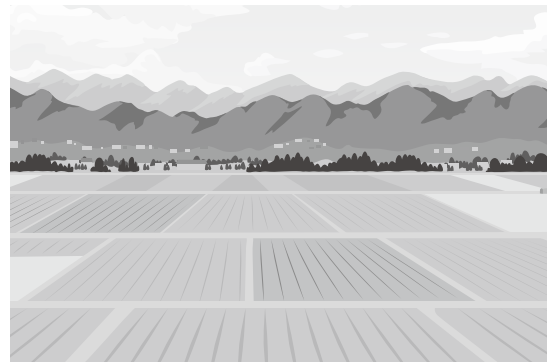
の補正となった。

**問** 勤労福祉会館費の財源を特定財源から一般財源に変更する理由は。

**答** 当初予算で特定財源として勤労福祉会館使用料を歳入計上していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により4、5月が休館となり、6月以降も昨年と比べて使用料が30%程度減額となっていることから、使用料収入を減額し、一般財源から補てんするかたちで財源内訳変更を行った。

**問** 農業振興費の機構集積協力金交付事業補助金の増額内容は。

**答** 耕作等ができない、また、経営の転換等により耕作を農地中間管理機構にお願いした地域や個人に対して支援する補助金で、現在3名の方(計440a)が対象となっている。9月の要望調査で対象者が確定したことから今議会で



**問** 商工振興費の商業団体活性化推進事業費補助金の減額理由は。

**答** 新型コロナウイルス感染症の関係で各商店会において事業が実施できなかつたことから減額するもので、北町商店会ではホームページを立ち上げた差額を計上した。なお、市としては事業中止の代替えとして何かできることをお願いしており、助町商店会ではコロナ対策事業に切り替えて取組を実施している。

**問** 都市計画総務費の幸手市都市計画マスタープラン策定業務委託料1650万円が減額され繰越明許ではなく、新たに債務負担行為を設定して来年度まで策定が延期される。新型コロナウイルスの収束が見えない状況での来年度完了の見通しは。

**答** 現契約が令和元年度、2年度の債務負担行為を議会の議決をいただいて設定していることから、令和2年度、3年度においても改めて債務負担行為を設定して業務を履行していきたい。

業務完了の見通しについては、現在、素案作りを進めており、当初のワークショップに替えて、市民から意見をいただく機会を見直すなど行程を検討しながら令和4年3月までに完了する計画である。

**問** 河川総務費の光熱水費の増額理由は。

**答** 当初予算では必要最小限の予算を計上していたが、今年梅雨時期に長雨が降り、道路河川課が設置するポンプも複数稼働した。このことから、市内に設置している各ポンプおよび関連施設などの電気料金が増加し、10月以降の光

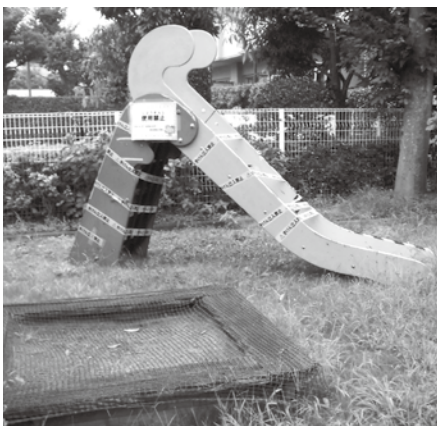
熱水費に不足が生じることが予測されたため補正を計上したものである。

**問** 公園管理費の公園施設撤去工事費の内容は。

また、小さな子どもたちが遊べる遊具は非常に貴重である。今後の新遊具設置の考えは。



**答** 中4丁目の大杉町公園の砂場と滑り台を撤去する。これらの遊具は設置から30年以上を経過。年1回の法定点検で修繕対策が必要との判定があったもので、新たな遊具の設置については今後検討していきたい。



▲大杉町公園